	/m						開講		
科目名	保育内	容指	導法	(言葉)			キャンパス	神	園
担当者		金	久恒	—					
開講年次	1	開講期	後期	単位数	2	必修·選択		選步	5
授業の概要及びねらい	ら思考力・ 声』「語」「文	・判断力 と字」「書	・自己表 き言葉」	静神力と連帯意 現力を身につ 等、成長に応 で育の大切さに	けさせる じて発達	ことが重要していく記	要である。 過程とそれ	本授業では	は幼児の「音 保育者の役割
授業の到達目標	 1)調査研究を通して領域「言葉」と他の領域との関わりを理解し、レポートにまとめることができる。 2)調査研究を通して言語の機能と幼児の言語獲得過程が理解でき、レポートにまとめることができる。 3)調査研究を通して幼児の話し言葉・書き言葉の発達過程が理解でき、レポートにまとめることができる。 4)小学校学習指導要領、幼稚園教育要領の分析を行うとともに、段階的・発達的指導内容を系統的にまとめることができる。 5)保育者として話し言葉や書き言葉の援助のあり方を理解でき、レポートにまとめることができる。 6)絵本の特徴や読み聞かせのポイントについて考えるとともに、発達段階に応じた読み聞かせができる。 7)幼児の言葉の発達過程をふまえたオリジナル話を創作し、読み聞かせができる。 								
学習方法	講義 演習			·		t to the	T E 7 7		
テキスト及 び参考書等	テキスト:野口隆子			、「保育内容					火田喜代美・
評価基準・方法		知識	・理解	型 思考・判断	選 関心・	目 ·意欲·態度	<u>標</u> ₹ 技能		評価割合%
定期試験 小テスト等			0	0					60
宿題・授業外レポート				0		\circ			20
授業態度						\bigcirc		I	10
									10
受講者の発表授業への参加						0			
受講者の発表授業への参加をの他						0			10
授業への参加 その他						0			10
授業への参加						○ 評価する		至価の際に重	
授業への参加 その他 合 計	度			習内容・キー	ワードと) 評価する スケジュ -		在価の際に重	100
授業への参加 その他 合 計 第 1 週 2	度 オリエンテー	-ション	(幼児の	習内容・キー 言語と後期授	ワードと 業の見通)評価する スケジュ - し)	ール)		10 100 重視する観点)
授業への参加 その他 合 計 第 1 週 第 2 週	度 オリエンテー よりよい幼児	-ション 己の育ち	(幼児の と保育者	習内容・キー 言語と後期授 の役割につい	ワードと 業の見通 て考え合)評価する ス ケジュ - し) い、調査研	-ル) 研究グルー	プ構成を行	10 100 重視する観点) 行う。
授業への参加 その他 合 計 第 1 週 第 2 週 第 3 週	度 オリエンテー よりよい幼児 調査研究発表	-ション 己の育ち 長をもと	(幼児の と保育者 に、幼児	習内容・キー 言語と後期授	ワードと 業の見通 て考え合 を獲得す	○評価する。 スケジュー し) い、調査研 ることの意	-ル) 研究グルー 意義につい	プ構成を行 てまとめる	10 100 重視する観点) 丁う。 る。
授業への参加 その他 合 計 第 1 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	度 オリエンテー よりよい幼児 調査研究発表 調査研究発表	-ション 己の育ち 長をもと	(幼児の と保育者 に、幼児 に、幼児	学習内容・キー)言語と後期授 fの役割につい はにとって言葉	ワードと 業の見通 て考え合 を獲得す の習得方)評価する。 スケジュー し) い、調査何 ることの意 法やその	ール) 研究グルー 意義につい 影響につい	プ構成を行 てまとめる て話し合う	10 100 重視する観点) テう。 る。
授業への参加 その他 計 1 2 週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	度 オリエンテーより リエン は 関査研究発表 調査研究発表表 切稚園や保育	- ション きの育ち きをもと をもとに を動での	(幼児の と保育者 に、幼児 に、幼児 こ、幼稚園 文字、書	図内容・キー 言語と後期授 の役割につい にとって言葉 の音声や文字 は教育要領や小学 でき言葉や人の	ワードと 業の見え で変 で 変 で 変 で で で で で で で き で き で き で き	○評価する: スケジュ- し) い、調査何 ることの 景等領との などの指導	ール) 研究グルー 意義につい 影響につい)比較を行い 算法につい	プ構成を行ってまとめる で話し合う い、その違い で調べ、記	10 100 重視する観点) でう。 る。 う。 いを話し合う。 話し合う。
授業への参加 その他 計 1 2 3 3 4 5 5 6 7 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	度 オリエンテーよ リカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカ	- ショ育 きの育ももと をもという での意 での意	(幼児の と保育者 に、幼児 に、幼児 こ、幼稚園 文字、書 義とその	習内容・キー 言語と後期授 の役割につい にとって言葉 の音声や文字 の音葉や人の き言葉や人の 遊び方法をさ	ワードと 通合す を の 学話 ぐ り そ ぎょう で 変 き で 変 き で き い く た い く た い く た い く た い く た い か い か い か い か い か い か い か い か い か い	○評価する: スケジュー し) い、調査の ることの まやその 領との などの 指導 などの れぞれの ん	ール) 开究グルー 意義につい 影響につい)比較を行い 算法につい 両値につい	プ構成を行ってまとめる。 て話し合う て話し合う で調べ、記 で話し合う	10 100 重視する観点) でう。 る。 う。 いを話し合う。 う。
授業への 会 で で で で で で で で で で で で で	度 オリエンテーより 調査研研究発表 調査研究発表表 調査種園の言葉本の 切児に絵本の	- ショ育を長をもというまたとという。 きょう きょう きょう きょう きょう きょう きょう きょう かい 意聞	(幼児の と保育者 に、幼児 に、幼稚園 文字、その かせをす	図内容・キー 一言語と後期授 一の役割についま にとって主葉 の音声のである。 の音声のである。 の音が表しています。 の音が表しています。 の音が表しています。 のである。 のでる。 のでる。 のである。 のでる。 のである。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 のでる。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので	ワードの考獲習ででの考話ででの考獲習学聞、えるのでである。	つ評価する。 スケジュー しい、調査 ることの ることの ま等要の などれぞれの い、グルー	ール) 研究グルー 意義につい ど響につい う比較を行い 算法につい 面値につい ープごとに	プ構成を行 てまとめる い、その違い、 に で 話し合う で に で 話し合う で に る こ で ま こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	10 100 重視する観点) う。 う。 いを話し合う。 う。 と練習をする。
授合第第第第第第第第第第一第第第第第第第第第第第123456789	度 オリエンテータ リリなで研究を対している。 関連を研究のででででである。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	シのををを関び読えったとといの意聞り	(幼児の と保育者児 に、幼稚 で文美とそを を は、総本 となる となる となる となる となる となる となる となる となる となる	習内容・キー 言語と後期授 の役割にて言葉 の音声やいり の音が有要領や人の きぎが が が が が が が で で で で で で で で で き で で き で き	ワードでである。	○評価する。 スケジュー しい、ここをの 調との が なことぞの が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	一ル) 研究グルー 意義につい ら響につい うはを行い 事話につい 一プごとに 引を行い、	プ構成を行 てまとめる。 て話し合い、そので、 にで話し聞かせる。 相互評価を	10 100 重視する観点) う。 う。 いを話し合う。 う。 と練習をする。
授 そ 合 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	度 オリリエンテーリント リリリをでは 大いの発発表 調査研究発発表 でで発表表 でで終本の でなって でなって かりにして でなって でなって でなって でなって でなって でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。	- きをををしているというというともというできるというできないでいます。 こう といい 意聞り聞	(幼児の と保育者 に、幼稚、 に、幼稚、 文字とをを 養し、 かせ発本を かせ発表	図内容・キー 一言語と後期授 一の役割についま にとって主葉 の音声のでもいいます。 の音が表するです。 一の音楽や人のできます。 一の音楽や人のできます。 一の音楽ではない。 一の音ではないない。 一の音ではない。 一の音ではない。 一の音ではない。 一の音ではない。 一の音ではない。 一の音ではない。 一の音ではない。 一の音ではない。 一の音ではない。 一句ではない。 一句ではない。 一句ではない。 一句ではない。 一句ではない。 一句ではない。 一句ではない。 一句ではない。 一句ではない。 一句ではない。 一句ではない。 一句ではない。 一句ではないない。 一句ではないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	ワードでである。 アード見え得得習りででがみずりまる。 では、こうではいる。 では、こうではいる。 では、こうではいる。 では、こうでは、こうでは、こうでは、こうでは、こうでは、こうでは、こうでは、こう	○評価する。 スケジュー しい、ことでのよう。 調をのよう。 はい、ことで領しているとのよう。 はい、ことではいいないできない。 はい、ことではいいないできない。 はい、ことではいいない。 はい、ことではいいない。 はい、ことではいいない。 はい、ことではいいない。 はい、ことではいいない。 はい、ことではいいない。 はい、ことではいいない。 はい、ことではいいない。 はい、ことではいいない。 はい、ことではいいない。 はい、ことではいいない。 はい、ことではいいない。 はい、ことではいいない。 はい、ことではいいないない。 はい、ことではいいないない。 はい、ことではいいないない。 はい、ことではいい、ことではいいないない。 はい、ことではいいないない。 はい、ことではいいないないない。 はい、ことではいいないないない。 はいないないないないないないないない。 はいないないないないないないないない。 はいないないないないないないないないないないないないないないないない。 はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	ール) 研究がいった。 研究を表についいい。 がおいれていいいでは、 ではいいいでは、 ではいいが、 ではいいがはいいがはいいが、 ではいいがはいいがはいいがはいいがはいいがはいいがはいいがはいいがはいいがはいい	プ構成を行てまとめる。 て話し合う。 て話し合う。 でで話し聞かせて でで話み聞かせる。	10 100 重視する観点) う。 う。 いを話し合う。 う。 させ練習をする。 を行う。
授合第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	度 オよ調調動かのは、 よいのででででででいる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	- きををを関びたいいますをももとでの意聞り聞せ	(幼児の は保い、 はに、 幼字、 はない で 、幼子、 で を を を を を 、 が と で を で 、 が り と で 、 が り で り で り で り で り で り で り で り で り で り	習内容・キー 言語と後期授 のとの音声をでして言葉の の音が表記を の音が表記を の音を でを でを でして できる できる できる できる できる できる できる できる できる できる	ワードででの学話ぐてがみです。 一下見え得得習聞、え読か聞いる。 ではないないではないがある。 では、これではないでは、これではない。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	○評価する: スケジュー しい、ことののは ることで領とのれい、かまとのがですが、かまとののようでは、かまない。 では、かまない。 のっこと」を	ール) 研究を表についいいいに がいないいいいいに がいないいいに できないいいに できないいい のがないに のがない のが	プ構成を行てまとめる。 て話し合う。 て話し合う。 でで話し聞かせて でで話み聞かせる。	10 100 重視する観点) う。 う。 いを話し合う。 う。 させ練習をする。 を行う。
授 そ 合 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	度 オリリ査研研研ののに一ていた。 カカカケ全のに発表を表表を本のでした。 カカケ全のに発表を表表を表した。 カカケ全のに発表を表表を表した。 カカケ全のに発表を表表を表した。 カカケ全のに発表した。 カカケ全のに発表した。 カカケ全のに発表した。 カカケーのは、 カカケーのに、 カーのに、 カーのに、 カーのに、 カーのに、 カーのに、 カーのに、 カーのに、 カーのに、 カーのに、 カー	一己を長を閉びだこみになってもももとでのみたみかき行ったととの意聞り聞せ、い	(幼保の) とにに、文義か、かを幼、別の) といいの (大変) とせ にいない (大変) といい (大変) といい (大変) できる (大変) できる (大変) できる (大変) かっぱい	習内容・キー 言語と後期授い 言語と後にてする。 にの音音ででは、 との音をできます。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ワ 業てをの学話ぐてがみ「」り一の考獲習学をり考ら聞えが方ド見え得得習聞、え読かえ明やは値合す方指くそ合みせい確創	○評価する: スケジュー しいる法導なれい聞のこのでは、かポとそ領になってがです。 スケジュー は、こや要どぞ、かポントー は、かがよりになっている。 では、かがよりになっている。 では、かがよりになっている。 では、かがよりになっている。 では、かがよりになっている。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	ール) 一次 がいついい 一般 がいついい がいついい がいかい がいない がいかい でですとし でですとし がいかい でがない がい がいかい でがない がいかい でいい がいがい がい がいがい がい がい がい がい	プ構成を名える。 ででいてででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でででは、 でででは、 ででできます。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる	10 100 100 重視する観点) う。 う。 いを話う。 う。 とそう。 きた行う。 構想を練る。
授合第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	度 オリリ査研研研ののに一ていた。 カカカケ全のに発表を表表を本のでした。 カカケ全のに発表を表表を表した。 カカケ全のに発表を表表を表した。 カカケ全のに発表を表表を表した。 カカケ全のに発表した。 カカケ全のに発表した。 カカケ全のに発表した。 カカケーのは、 カカケーのに、 カーのに、 カーのに、 カーのに、 カーのに、 カーのに、 カーのに、 カーのに、 カーのに、 カーのに、 カー	- 1 見長を育在いまさいようととを育在いまでいまであるというまである。 ういい かいり 聞せ 、いり	(とにに、文義か、)かを幼、、別保、、幼字とせ絵せ視児読新にみし、新聞にみし、間では、一般のでは、一般のでは、一般ので、一般ので、一般ので、一般ので、一般ので、一般ので、一般ので、一般ので	習内容・キー 言語ととは、 言語ととは、 言語とと、 言語では、 言語では、 言語ででは、 言語ででは、 言語ででは、 言語ででは、 言語ででは、 言語ででは、 言語できままま。 言語できまままま。 言語できまままま。 言語できままままま。 言語できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	ワ 業てをの学話ぐてがみ「」り一の考獲習学をり考ら聞えが方ド見え得得習聞、え読かえ明やは値合す方指くそ合みせい確創	○評価する: スケジュー しいる法導なれい聞のこのでは、かポとそ領になってがです。 スケジュー は、こや要どぞ、かポントー は、かがよりになっている。 では、かがよりになっている。 では、かがよりになっている。 では、かがよりになっている。 では、かがよりになっている。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	ール) 一次 がいついい 一般 がいついい がいついい がいかい がいない がいかい でですとし でですとし がいか がいない がいないないない がいない がいない がいないない がいないないない がいないない がいない がいない	プ構成を名える。 ででいてででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でででは、 でででは、 ででできます。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる	10 100 100 重視する観点) う。 う。 いを話う。 う。 とそう。 きた行う。 構想を練る。
授 そ 合 第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	度 すよ調調調効効が分全効構創学ま リり査査査稚児児ル体児想作習と エよ研研研園のに一でへ表話内め でで、表話内め、業体であると会され には、できないできます。 でででででででででいる。 でででででででいる。 ででででできます。 にいいででできます。 にいいででできます。 にいいででできます。 にいいでできます。 にいいでできます。 にいいででできます。 にいいできます。 にいいできます。 にいいでは、 にいいでは、 にいいできます。 にいいできます。 にいいでは、 にいいででは、 にいいでは、	- 見を長を育在りまされています。 これの意味のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	で、とににて、文義か、かを幼、、ス で、 の者児児童・の者児児童・の者児児童・の者児児童・のすを表野にみしを 習して、 で、	習内容・キー 言語ととは、 言語ととは、 言語とと、 言語では、 言語では、 言語ででは、 言語ででは、 言語ででは、 言語ででは、 言語ででは、 言語ででは、 言語できままま。 言語できまままま。 言語できまままま。 言語できままままま。 言語できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	ワ 業てをの学話ぐてがみ「」りや 返一の考獲習学をり考ら聞伝が方今 りだ見え得得習聞、え読かえ明や後 、と通合す方指くそ合みせい確創の 本	○評価する。 スケジュー では、これででは、かっては、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	一ル) 一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	プ構成を行っていてで読れていてで読れていてで読れる。 に合うでは、合うでは、合うでは、合うでは、合うでは、合うでは、合うでは、合うでは、	10 100 100 (100 (100 (100 (100 (100 (10